



正教に受け継がれる キリスト教の精髓

会場 大阪ハリストス正教会

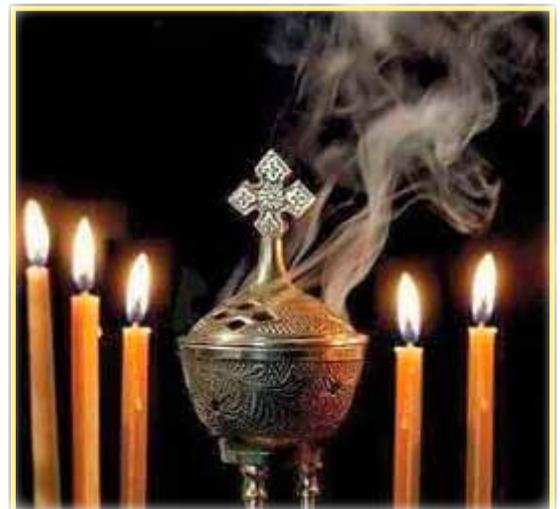
連続講演会 第10回 **先備聖体礼儀が体験させるもの**

入場無料 **3月21日 (水・祝) 午後3時～5時**

復活祭までの50日間「大斎」(四旬節)、主の復活の喜びに与るため心身を準備します。大斎期間の水曜日と金曜日には特別に「先備聖体礼儀」という礼拝式が行われ、直前の日曜日にキリストの体と血に「聖変化」されたパンと葡萄酒が分かち合われます。先備聖体礼儀にはどんな意味があるのか、そこには正教会の救いの理解へのたくさんの手がかりがあります。

講師：司祭エフREM後藤悠太
(神戸教会管轄司祭)

会場：**大阪ハリストス正教会**



ドストエフスキーは名著「カラマーゾフの兄弟」の中で、この先備聖体礼儀をゾシマ長老の思い出として美しく描いています。

…丸天井の狭い窓からは教会にいる私たちに神の光が降り、香の煙はその光に向かって波のようにたゆたいながら高みに登り、ひとつに溶け合うかのようなだった。…

この時、聖堂では「願わくは我が祈りは香炉の香りの如く…」という美しい歌が歌われます。

**当日の先備聖体礼儀
午後5時から**

どなたもご参加、ご見学いただけます。